

水の循環と食物連鎖

豊かな森が豊かな海をつくる!

森や山に降った雨は土にゆっくりしみ込み、きれいで栄養のある水になります。

その水が川に流れ込むとたくさんの微生物が育ち豊かな川になります。

川はやがて海に流れ込み様々な生物が成長する豊かな海になるのです。

…そして、海の水は太陽に暖められ、蒸発し雲となり、再び雨となって森や山に降り注ぐのです。

きれいで栄養分のある水が流れ出し海へとつながる。



だから森を大切に守って水も汚しちゃいけないんだよ!

さて、続いては、海と環境について考えてみましょう。

このイラストを見てください。

実は海は、森(山)や川、そして私たちとも深くかかわっています。

森や山に降った雨は土にゆっくりしみ込み、きれいで栄養のある水になります。
その水が川に流れ込むと、たくさんの微生物が育ち豊かな川になります。
川はやがて海に流れ込み、様々な生物が成長する豊かな海になるのです。
そして、海の水は太陽に暖められ、蒸発し雲となり、再び雨となって森や山に降り注ぐのです。

この「水の循環」は、私たち人間にとっても重要です。
栄養分のある水が川へと流れ込み、川から海へと流れていきます。
栄養分のある水には、小さな魚のエサであるプランクトンが発生し、それを食べる小魚も増えます。
小魚が増えると、それを食べる大きな魚も増えていきます。
また、その魚を人間が食べるという「食物連鎖」にもつながっていくのです。

しかし、海が汚れてしまうとどうなるのでしょうか。





日本全国の海岸に漂着したゴミ
58万トン (2013年度)

環境省まとめ

もし、ポイ捨てを
してしまうと...



もし、みんながポイ捨てをしてしまったら・・・

栄養が雨によって川から海に流れ込むように、町で捨てたゴミも雨によって川に流され、やがて海に流れ着いてしまうのです。

2013年度に日本全国の海岸に漂着したごみの量は、最大で58万トンと推計されるそうです！
58万トンというと、スカイツリーの重さが3万6千トンですから、スカイツリー16本分に相当します！！すごい量ですよ。

そのゴミを海の生物は、餌と間違えて食べてしまう場合があります。
カメやイルカがゴミを食べてしまったらどうなるか想像してみてください。

そう、ちゃんと成長できない生物や、死んでしまう生物もいます。
また、このゴミの中に有害な物質があり、それを食べてしまった生物を、
私たち人間が食べてしまうかもしれません。

このような問題をなくすために、私たちに何ができるでしょうか。



Reduce
リデュース



Reuse
リユース



Recycle
リサイクル



食べ残しをしない



その他にも
・植樹活動
・ごみ拾い活動
に参加



環境編③

私たちに出来ること、それは難しいことばかりではありません。
例えば、「3R(サンアール)」という言葉を知っていますか？

これは「リデュース(Reduce)」、「リユース(Reuse)」、「リサイクル(Recycle)」のことを言います。

「リデュース」はいつかゴミになるものをたくさん買ったり、すぐに買い替えたりせず、ものを大切にし、なるべくゴミを発生させないという考え方です。

英単語のReduceには、「減らす」という意味があります。

例えば、スーパーやコンビニでビニール袋をもらわず、エコバックを利用することで、ゴミを減らすことができますね。

では、「リユース」はどういう意味かわかりますか？

英単語のReuseには、「再利用」という意味があります。

つまり「使い捨て」のものをなるべく使わないことや、自分が使わなくなったものを人に譲ることなどです。

例えば、シャンプーなど詰め替え用の製品を利用したり、いらなくなったものをリサイクルショップなどで売り、次の人に使ってもらうこともひとつの方法です。

「リサイクル」は聞いたことがある人も多いと思いますが、再利用できる資源とゴミを分別し、再利用しやすくすることです。英単語のRecycleには、「再生利用」という意味があります。

もっと簡単なこともあります。それは食べ残しをしないということです。

好き嫌いがある人はいますか???(挙手を促す)

食べ残した残飯は、正しく処理されていけば問題ありませんが、そのまま水に流してしまった場合、生き物が住める水に戻すためには、何千倍、何万倍もの量のきれいな水が必要です。

好き嫌いをしないようにすることが、海を守ることにもつながるんですね。

その他にもB&Gで実施しているクリーンキャンペーンや、「ごみ拾いのイベント」に参加することや、「植樹の活動」に参加して、木を植え森を育てることも、海をきれいにするにつな갑니다。今日学んだように、海と森が深い関係にあるためです。

海が近くにある・ないに関わらず、いろんなことに参加したり、チャレンジしたりしてみましょう。

